

令和5年度（2023年度）
熊本市防災士フォローアップ研修会

「避難所運営について」

令和5年（2023年）10月15日

熊本市 政策局 危機管理防災部 防災対策課

目次

- 1 熊本地震時の避難所における教訓
- 2 熊本地震後の避難所に関する取組
- 3 熊本市の災害時の体制等について
- 4 指定避難所等について
- 5 最後に

1 熊本地震時の避難所における教訓

(1) 熊本地震時の避難所における主な課題

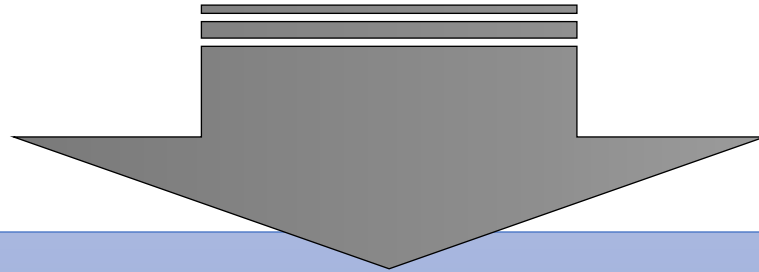
- ◇ 避難所開設の遅れ
- ◇ 職員の日替わり交代制による情報共有不足
- ◇ 地域との意思疎通が不十分
- ◇ 職員のスキルも対応もバラバラ
- ◇ 行政頼りの避難所運営形態
- ◇ 車中泊や指定避難所以外の避難者の把握と対応



(2) 熊本地震の教訓

- ◆一方、自治会や避難者自身が中心となり運営した避難所は、概ね順調に運営できた。

⇒発災初期の避難所運営は、地域の力（**自助**・**共助**）
が大きい



地域・施設・行政が連携し、発災直後から避難所開設・運営に取り組む為の組織を、【平時】から作る必要がある。

⇒地域主体の避難所開設・運営
が行える体制づくり

2 熊本地震後の避難所に関する主な取組

【1】避難所担当職員について

（1）避難所担当職員とは

避難所担当職員とは、平時から、避難所ごとに派遣する職員を指定し、震度6弱以上の地震等が発生した際は、避難所へ自動参集し、地域等と連携し、避難所の開設・運営を行います。

また、平時から、「校区防災連絡会」や「避難所運営委員会」の一員として、避難所開設・運営に必要な準備や訓練等に取り組みます。

（2）対象施設等

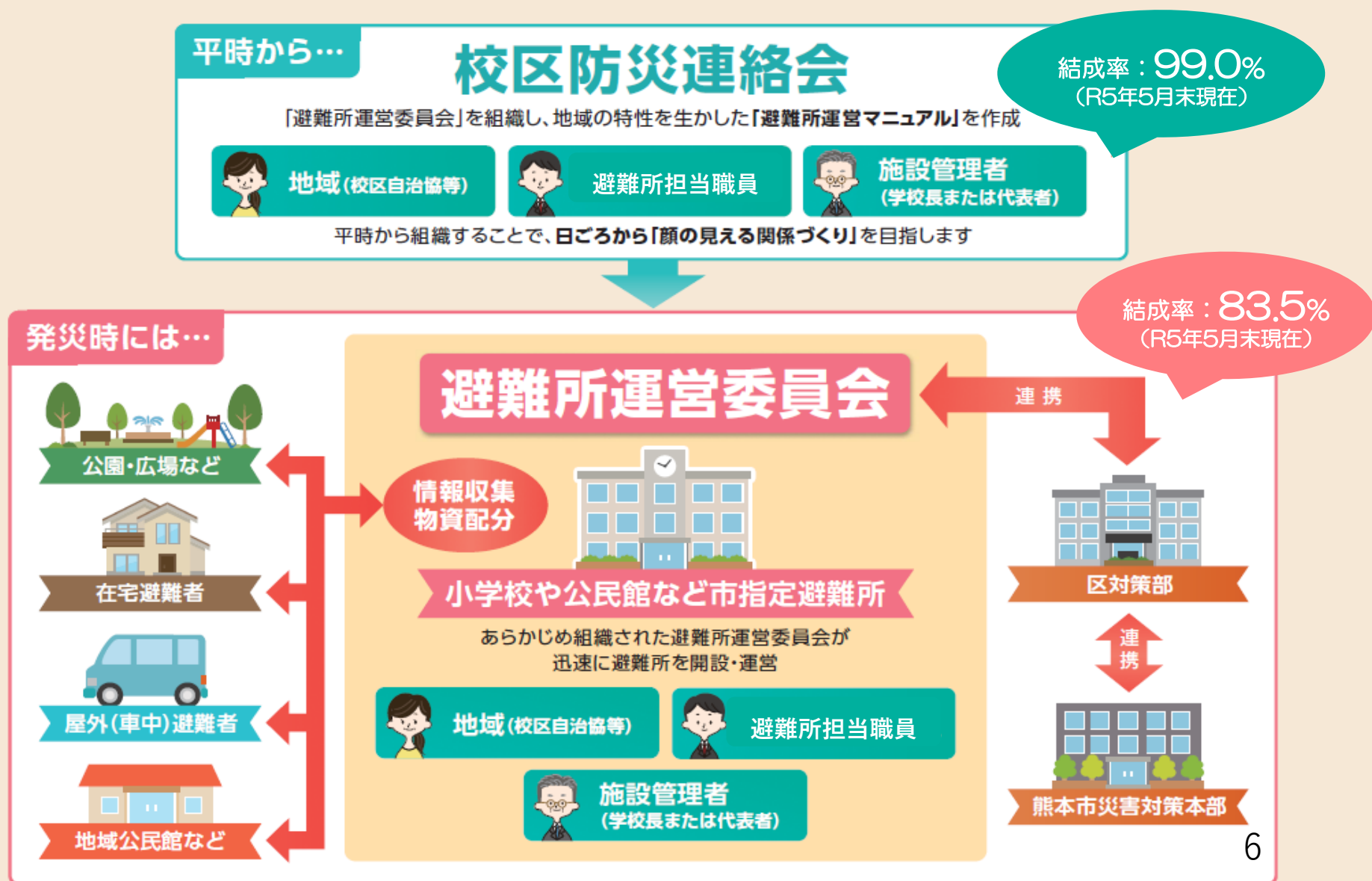
対象施設：指定避難所等（200か所）

配置数：1施設に3名



【2】校区防災連絡会・避難所運営委員会について

○ イメージ図



【3】熊本市避難所開設・運営マニュアルについて

- 本市では、熊本地震の教訓を踏まえ、避難所の開設運営等について、平成29年5月に全面的に改訂を行いました。
- 改訂後の『熊本市避難所開設・運営マニュアル』は、「事前準備編」、「避難所開設・運営編」、「様式集」の3部構成となっています。

大規模災害から命と暮らしを守るための 熊本市避難所開設・運営マニュアル －事前準備編－

(令和5年(2023年)6月 改訂版)



【平成28年熊本地震により被害を受けた熊本城天守閣】

熊 本 市

大規模災害から命と暮らしを守るための 熊本市避難所開設・運営マニュアル －避難所開設・運営編－

(令和5年(2023年)6月 改訂版)



【平成28年熊本地震により被害を受けた熊本城飯田丸五階櫓】

熊 本 市

大規模災害から命と暮らしを守るための 熊本市避難所開設・運営マニュアル －様式集－

(令和5年(2023年)6月 改訂版)



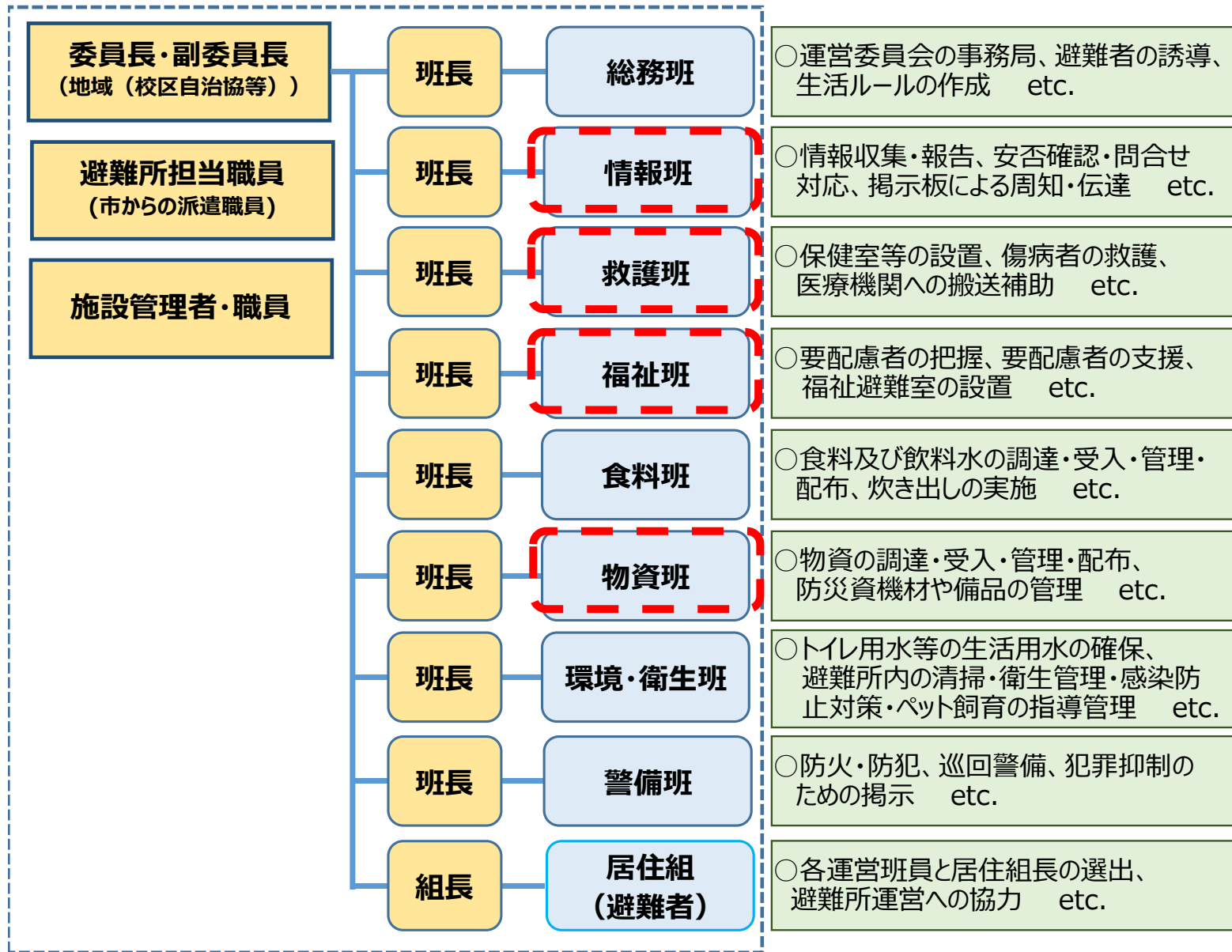
【平成28年熊本地震により被害を受けた熊本城頼当御門周辺】

熊 本 市

(1) 避難所で活動する運営班（一例）

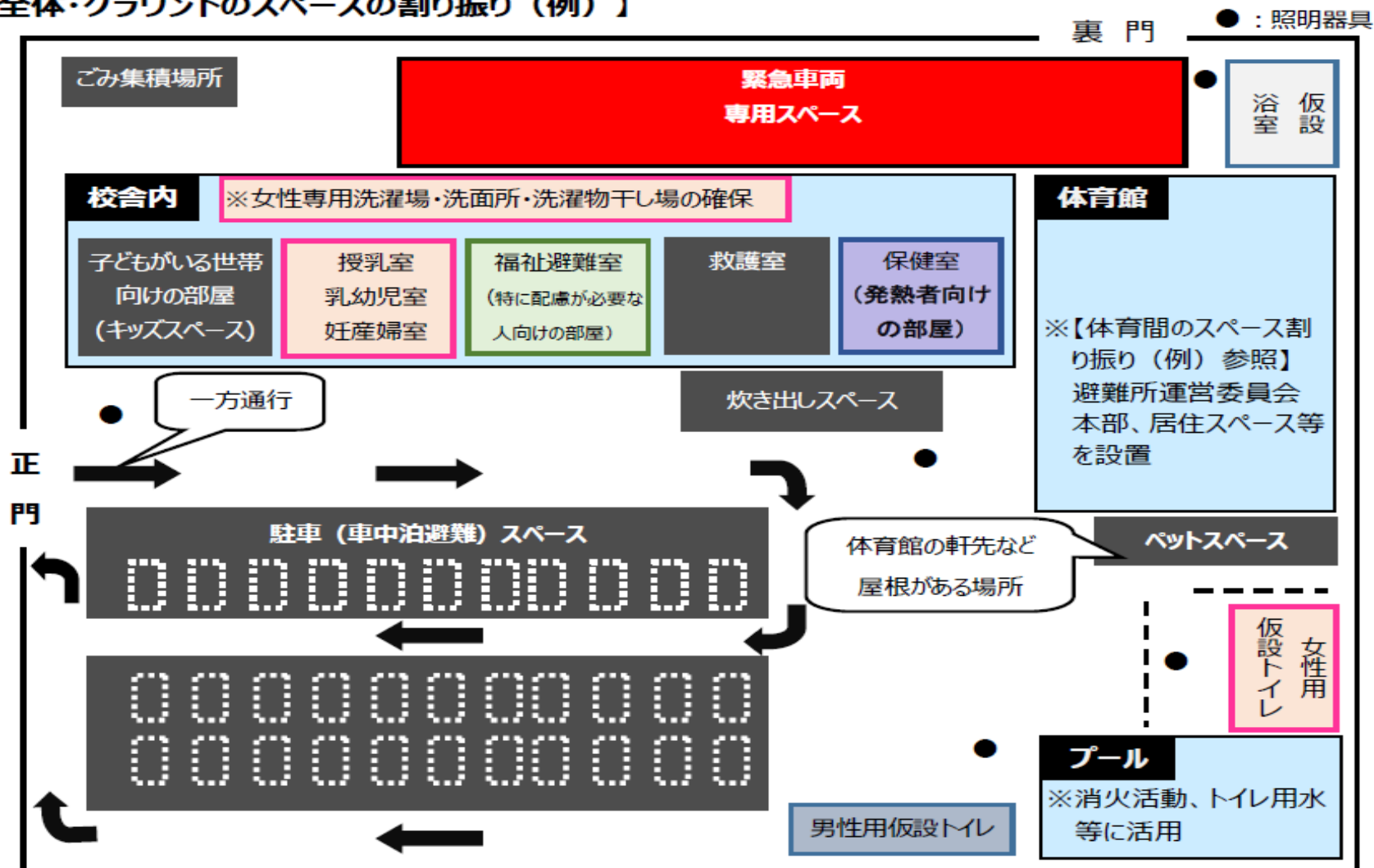
〇〇避難所運営委員会

※詳細は「避難所開設・運営編」に掲載



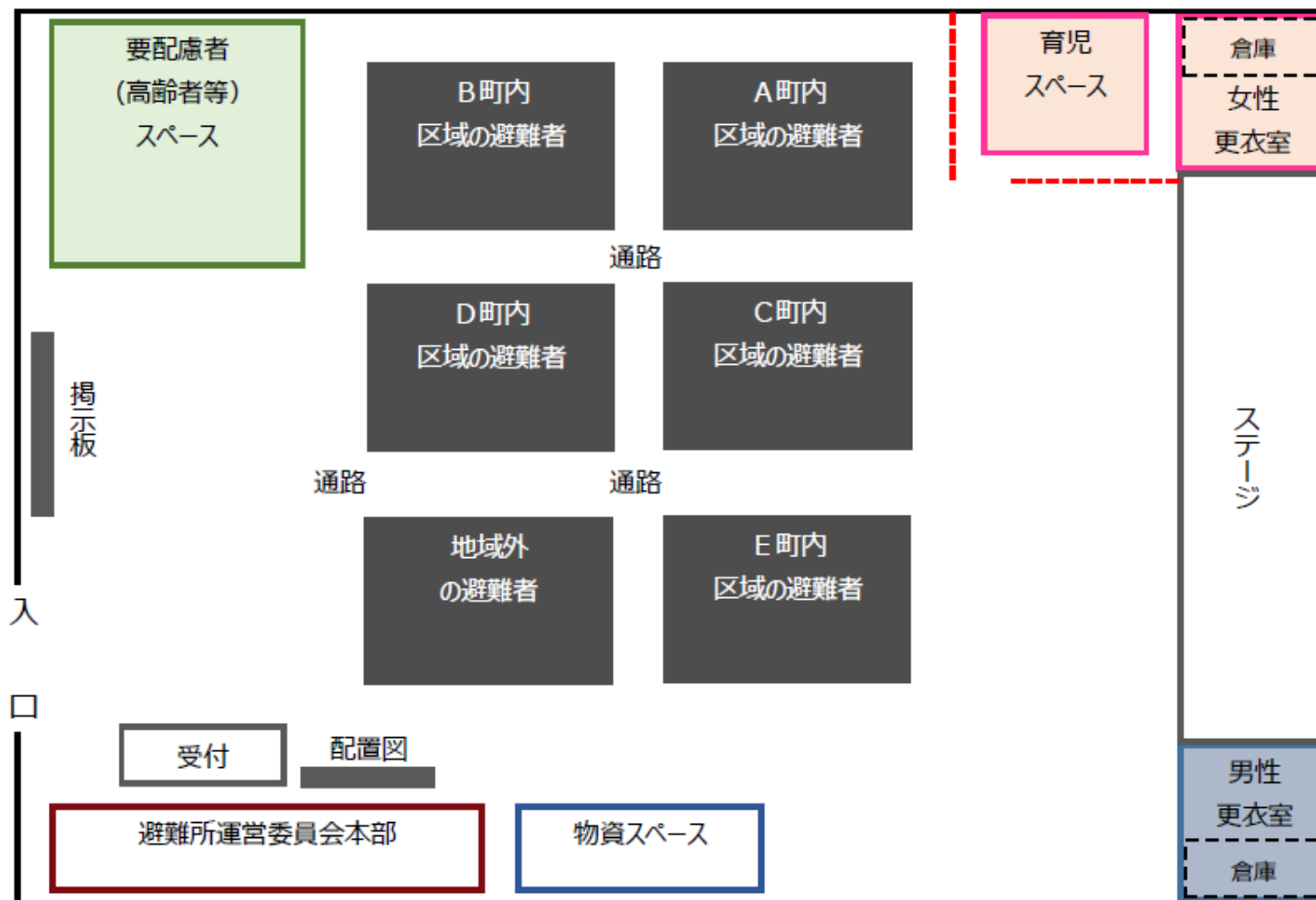
(2) 避難所内の居住スペース等の割り振り

【全体・グラウンドのスペースの割り振り（例）】



(2) 避難所内の居住スペース等の割り振り

【体育館のスペースの割り振り（例）】



【4】避難所開設・運営訓練の実施

熊本市では、熊本地震の風化防止や
地域防災力の向上を目的として
地域団体や施設管理者等と連携し
「熊本市震災対処訓練」
を実施しています。

震災対処訓練の状況

避難所でパーティションを設置



学校での垂直避難訓練



避難所への物資供給訓練



災害対策本部会議の様子



分散備蓄倉庫の紹介

- ・ 避難所運営に必要な物資等を保管している倉庫であり、指定避難所等となる施設に設置しています。
- ・ 基本的には大規模災害時に物流等が停止し、外部から物資等が届かない場合に活用することを想定しています。



<分散備蓄倉庫内の物資等>

非常食糧及び生活物資			
品目	更新期限	箱数	数量
アルファ米（アレルギー対応）1箱50食	4年	4箱	200食
アルファ米（おかゆ）1箱50食	4年	4箱	200食
長期保存パン 1箱24食（又は1箱48食）	4年	7箱	192食
粉ミルク 1箱5食	1年	4箱	20食
飲料水（2L）1箱12L	4年	48箱	576L
飲料水（500ml）1箱12L	4年	12箱	144L
レスキューシート	-	-	250枚

アルファ米等の非常食糧については、4年周期でローリングストックします。

資機材		
品目	配備場所	数量
簡易ベッド (段ボールベッド含む)	五福交流室（五福公民館）・大江交流室（大江公民館） サンライフ熊本・秋津まちづくりセンター・東部公民館 西部公民館・アスパル富合（富合公民館） 火の君文化センター・植木文化センター	12個
	熊本市総合体育館（青年会館）・託麻スポーツセンター 天明体育館・城南総合スポーツセンター・浜線健康パーク 南部スポーツセンター・アクアドームくまもと・雁回館 植木中央公園運動施設・清水スポーツセンター 龍田体育館・武蔵塚武道場	5個
特設公衆電話	別表1において <u>下記の場所以外</u> に配備 ※1	1台
	湧心館高校・熊本学園大・熊本大学大江体育館 熊本大学黒髪運動場黒髪体育館・済々黌高校 中央区役所・熊本大学本荘体育館・熊本商業高校 熊本工業高校・熊本高校・東区役所・熊本県立体育館 第二高校・東稜高校・熊本県立総合体育館・熊本西高校 西部環境工場・熊本農業高校・熊本北高校	—

※1『熊本市分散備蓄倉庫維持管理規定』中の別表1を指す

※以下の表は『熊本市分散備蓄倉庫維持管理規定』を引用しております。詳細は熊本市ホームページの『熊本市要綱集』からご確認ください。

資機材	
トランジスタメガホン	2個
投光機	2個
コードリール	2個
ガスボンベ	10本
卓上ガスコンロ	2台
鍋	1個
やかん	1個
乾電池（単1・単2・単3）	各10個
懐中電灯	1個
担架	1台
災害用救急箱	1箱
メガホン（大）	1個
発電機	1機
折畳式リヤカー	1台
非常用発電機用オイル缶（1L）	1缶
ヘルメット	5個
避難所初動運営キット	1式
マンホールトイレ資機材（テント、便座等）※2	1式
貯水機能付給水管備品（給水栓等）※2	1式
非接触型体温計	3台
マスク	1式
消毒液	1式
ポリエチレン製手袋（S・M・L）	各1式（100枚入）
養生テープ	1式
組立式トイレ	1式
トイレパック	600枚
毛布	20枚
パーティション	4式

※2マンホールトイレ及び貯水機能付給水管が設置された施設のみ

マンホールトイレの紹介

(1) マンホールトイレとは

下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やテントを
設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保します。
避難所等に順次設置が進められています。

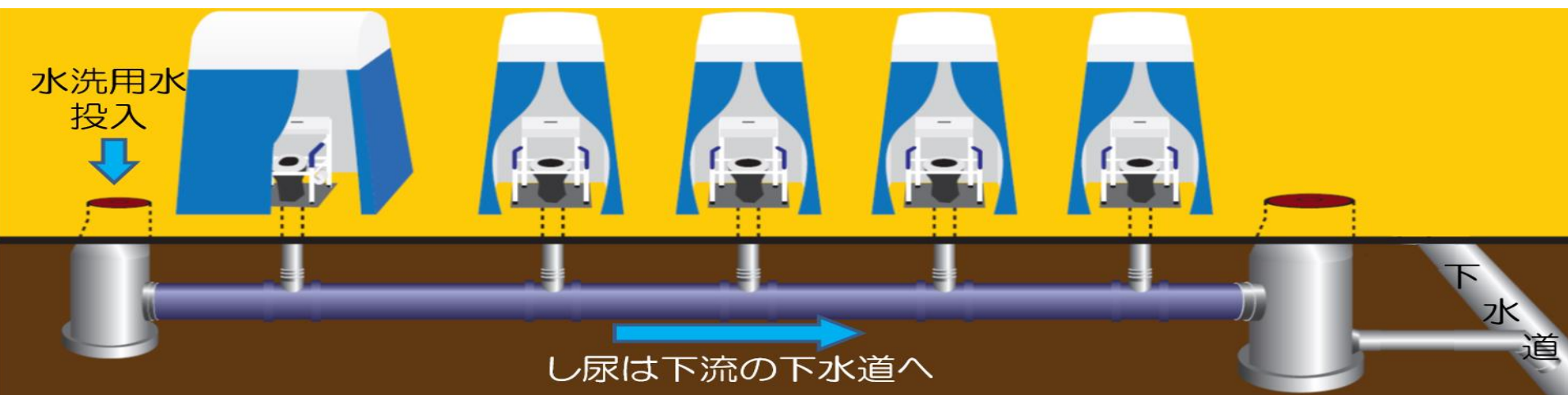


(2) 整備状況 (令和4年度末時点)

小学校：36校

中学校：32校

計 68校



貯水機能付給水管の紹介

(1) 貯水機能付給水管とは

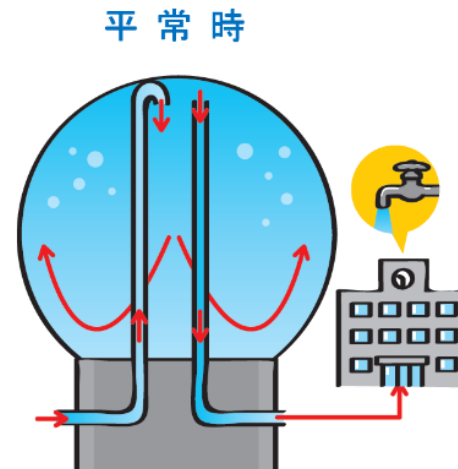
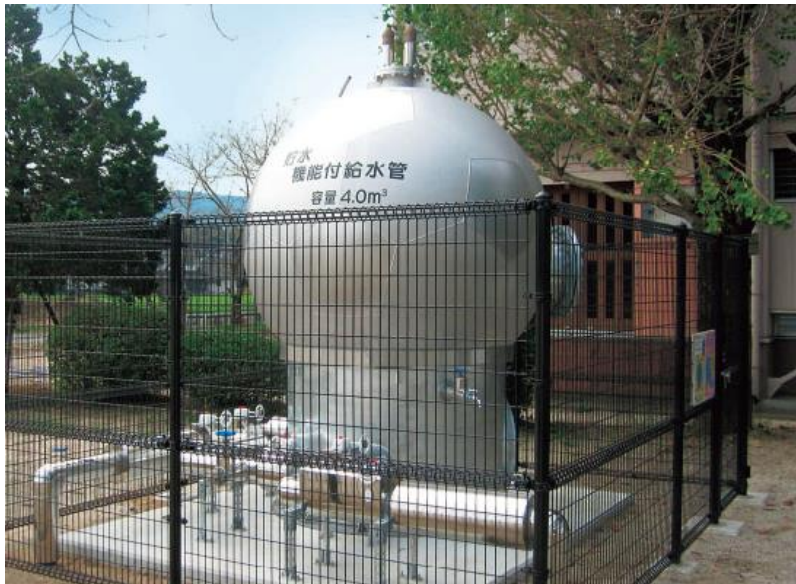
平時は通常の給水管で、地震等の災害時に水道本管が断水したときは、タンク容量分の水道水を確保し、非常用飲料水として活用します。

(2) 整備状況 (令和4年度末時点)

小学校：30校

中学校：15校

計 45校



3 熊本市の災害時の体制について

市内で熊本地震のような大規模災害が発生した場合等は、市役所本庁舎に災害対策本部、各局（区）に対策部を設置し、全組織を挙げて災害対応を行います。

（１）市災害対策本部

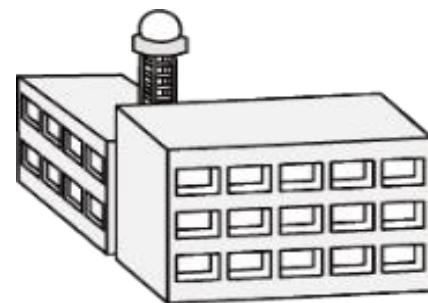
市長を災害対策本部長として、本庁舎に「熊本市災害対策本部」を設置し、各局（区）対策部と連携し、災害対策に取り組みます。



市災害対策本部

（２）各局対策部

消防局や健康福祉局、都市建設局、環境局、上下水道局、病院局など、局ごとに担当する災害対応業務に取り組みます。



区対策本部

（３）区対策部

各区役所は、区内の避難所等と密に連携し、避難者数の把握や必要な物資の対応に取り組めます。

4 指定避難所等について

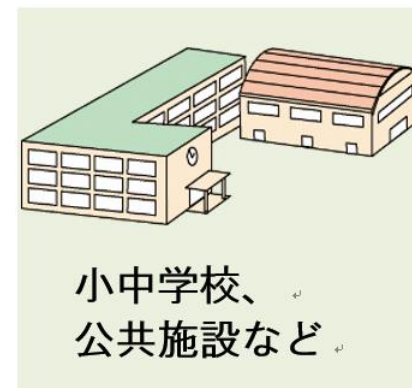
(1) 指定緊急避難場所

- 災害の発生又はおそれがある場合に、一時的に身を守るための場所として、市が指定した避難場所です。
- 都市公園、県・私立高校等のグラウンド、市公民館、市立の学校施設等、また、民間企業と協定を締結するなど、市が指定しています。



(2) 指定避難所

- 大規模な災害により、生活の場を失われた市民等が、一時的な生活の拠点として宿泊滞在する施設。
- 市立の小中高等学校や公共施設を指定しています。



その他の避難所

(3) 福祉避難所

指定避難所での共同生活が困難な高齢者、障がい者の他、妊産婦、乳幼児、病弱者等の要配慮者、及びその家族のため、施設のバリアフリー化に加えて介護や医療相談などに対応できる体制が図れる施設として協定を締結し指定している避難所。

(4) 福祉子ども避難所

共同生活が困難な障がい児等及びその家族のため、必要な配慮と支援体制の整った避難所（市内にある特別支援学校 7箇所）

など

5 最後に

- 熊本市では、熊本地震での経験を教訓として、地域の方々等と日頃から連携し、大規模災害に備えた避難所開設・運営等の準備、訓練等に取り組んでいます。
- 熊本地震のような大規模な地震、あるいは、大規模な風水害などはいつ発生するか分かりません。災害の規模が大きければ大きいほど、マンパワーの不足が考えられます。
- このため、防災士の皆様には、地域の防災活動のご支援をお願いします。
熊本市の取組を御理解のうえ、御協力をよろしくお願いいたします。